

CAFE BALCONY CAFE

カフェ・バルコニーの家

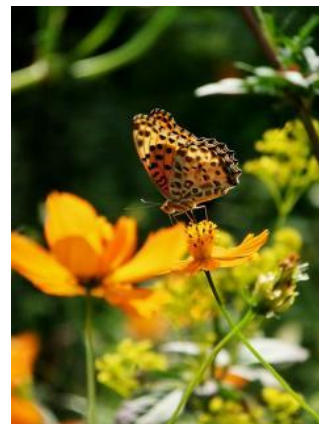
通信

平成 24 年 10 月号 (第 29 号)

CAFE BALCONY CAFE BALCONY CAFE BALCONY



「カフェ・バルコニーの家通信」
平成 24 年 10 月号をお届けします。
残暑厳しい日が去って、朝晩爽やかな
ひび日々が到来です。スポーツの秋、
味覚の秋を楽しみましょう。
でも、規則正しい生活習慣はキープ
しましょうね。



高橋秀明 撮影



「カフェ・バルコニーの家」の活動紹介



園芸の担当になりました。

この度、9月より園芸の担当になりました。
メンバーのみなんで、ラップに土壌を撒き、種 2 粒を撒きました。
スタッフさんが、腰を据えて、種をスプーンで鋤くって、撒いてくださいました。
植えたものは、ラベンダー、パンジー、ナチュレエッセンス、ワイルドフラワー、ビビエッセ
ンスの 5 種類です。今後、3～4 か月先に芽を出すのがとても楽しみです。
まめに、水をやり、定期的に育みを見たいと思います。
芽が出れば、まめに雑草など定期的にチェックし、周りから綺麗に見えるようにしたいと思
います。
お花たちの成長を大いに見守りたいと思います。
今後とも、カフェ・バルコニーの家の、園芸担当を宜しくお願いします。

K.H.



素人の料理道 (NHK プロフェッショナル風)

男達は戦っていた。賄い作りという名の戦場でだ。合戦の指揮を執るのはIだ。補佐にM、T、Kが付く。賄い作りを開始する数十分前、当法人の理事長から困難な命令が下された。

「男達だけで料理を作りなさい！」

その時、Iは困惑していた。「難しい仕事になる。」 Iは直感的にそう思った。男達にも緊張が走る。しかし、理事長命令は絶対だ。

Iには賄いを作るうえで一つの揺るぎない信念があった。「食べて死ななければいい。」 Iに迷いはなかった。IはKに言った。「死ななければ大丈夫。」

その言葉にKは勇気づけられた。Iには信念の他にもう一つ大きな武器となる隠し味がある。それは男気(おとこぎ)だ。もう男達に迷いはなかった。滴(したた)る汗。舞い上がるコショウ。万里の長城のごとくうねるマヨネーズとワサビ。

Iはまるで魔法使いのごとく料理を完成させていく。T、K、Mも必死に補佐する。Iの包丁裁きは実に豪快だ。ナスを拳大に次々と切り裂き、ゴーヤは種ごと混入。スタッフのMとメンバーのUから、すかさず指示が飛ぶ。「種を取りなさい。」

Iは言った。「もったいない。種も食べよう。」

場の空気が一瞬凍る。「もうだめだ。」一同には賄い作りが頓挫(とんざ)したかに思われた。ここでIは大きな決断を下す。「種を取ろう。」

Iは自分の信念を曲げてまでこの戦いに賭けていた。約一時間後ドリアとサラダが完成した。

「お疲れ様。」KはIをねぎらった。

カフェ・バルコニーの一同に安堵のときが訪れた。いただきますの声とともに食事が始まる。皆から美味しいとの声が上がった。Iは確信した。「俺には料理の才能がある。」

男たちの戦いが終わった。



戦火



メンバーからのメッセージ



編み物を編んで…

私は人生で初めてマフラーを編んでいる。
恥ずかしい。ちっともうまく出来ない。
ボーイフレンドに12月に渡すつもりである。
受け取ってもらえるだろうか。



不安である。
でも私にしてはうまく出来た。
分相応という言葉がある。
勇気をもって渡してみよう。
私なりにうまく出来たんだから。
「はい。プレゼント。」

栗山歩美



編物風景



私もそう

あの夏の中で
突っ立っているんだ

今でも

背の高い
ひまわりが枯れて
さびたマイクスタンドのよう

傷つく頃をすぎても
胸の奥に
痛みを感じる

タンポポの
小さな種が
風の中に消えてゆくと
思っていたから

傷

本松
岳



新スタッフからのメッセージ



カフェ・バルコニーの家の新スタッフです

7月からカフェ・バルコニーの家で働き始めました盛田です。

20年以上前の話ですが、学生時代にある先輩が私に言いました。

「どのような境遇にある人も、どのようなハンデがある人も、大富豪も、誰もみな、平等だ。」と。

今まで、何度も何度も繰り返し思い出しては納得していた私ですが、カフェバルコニーの家で働き始めてから、この言葉をさらに実感するようになりました。メンバーの皆さんの笑顔や、歌声や、様々な才能に触れるたびに、その言葉の意味が心の中で響きます。

この出会いに感謝しています。



盛田千亜紀



ご支援ありがとうございました



栗をいただきました。

メンバーの高橋くんから自宅で獲れた大きい栗を2袋をいただきました。
皆でどう食べようかと思案中です。



こんなに大粒の栗です。



お米・食用油をいただきました。

松山美千子様よりお米 6kg、食用油 2L をいただきました。



カフェバルコニーの家からのお知らせ



1. 元気回復勉強会を実施しています

カフェ・バルコニーの家では、毎月第1土曜日午前中、神奈川県立精神医療センター
芹が谷病院院長川副泰成先生を迎え、「元気回復勉強会」を開催しています。
今月は10月6日(土)です。

参加費用は無料です。お問い合わせ・出席申し込みは、事務局(石川)まで

○電話 043(377)3902 090-8462-7460

2. WRAP 講座を実施しています。

7月から、WRAP ファシリテーターの倉田真奈美さんをスタッフに加え、WRAP(ウェルネス
リカバリー アクション プラン)を実施しています。

参加費用は無料です。お問い合わせ・出席申し込みは、事務局(石川)まで

3. 活動の支援をよろしくお願ひします。

○カフェバルコニーの家では NPO 法人「カフェ・バルコニーの家」の理念に賛同頂き、
ご支援下さる平成 24 年度賛助会員を募っています。入会金 2.000 円 年会費 3.000 円(1口)
です。賛助会員には通信を毎月お送りし、「カフェ・バルコニーの家」の諸行事にご招待

いたします。

○「カフェ・バルコニーの家」の活動を支援して下さる応援団を募集しています。

年会費 1,000 円からです。(郵便振替 郵便振替 00180-2-322417 NPO 法人カフェ・バルコニーの家) 振込用紙は各郵便局にあります。

又は「カフェ・バルコニーの家」にご持参いただいても結構です。

4. 活動体験を受け付けています。

自立支援医療を受けている人は、社会的自立のために当会の活動に体験参加できます。(体験料 1日 200円)

5. 国家試験受験資格が得られます。

当会で2年間調理、接客訓練を受けた方は、**国家資格・調理師試験の受験資格が得られます。**(調理実習免除)

6. ボランティアさんを募集しています。

調理・和菓子作り・パソコン・経理・音楽・スポーツなど、いろいろな活動のボランティアさんを募集しています。

メンバーと一緒に楽しもうという気持ちがあれば、誰でも出来ます。

まずは、体験してみませんか。

(問い合わせは 043-377-3502 カフェ・バルコニーの家
簗下・石川・熊川まで)

<カフェ・バルコニーの家 通信 第29号 10月号>

- 発行場所 : カフェ・バルコニーの家
千葉市美浜区磯辺3-5-7
電話&FAX 043-377-3502
- 発行者 : 簗下 敦子
- 編集長 : 石川 恵一
- イラスト : 堀越 雅子
- HP : <http://www.cafe-balcony.jp>
- Email : cafe-balcony.mihama@cnc.jp